



関西いのちの電話

こころがつかれたら・・・ 06-6309-1121

自殺予防いのちの電話 (フリーダイヤル) 0120-738-556
毎月10日 午前8:00 ~ 翌日午前8:00



「ともに幸せになる幸せ」

関西いのちの電話 理事長 今村 一之

いのちの電話は、多くの個人、諸団体さらに企業等々に支えられています。今年、関西いのちの電話は、創立35周年を迎えました。

35年前に、関西いのちの電話を開設しようと努力された先輩の方々の心意気と実行力に改めて感服いたします。その時中心となり活躍された人たちが今なお活動なさっているのには、脱帽敬礼の外ありません。

これまで、関わってこられた方や現在活動をされている方々が作り上げてきた金字塔を守り、さらに磨き上げなければなりません。

24時間365日、一刻も休むことなく活動できているのは、300人を越す相談員の皆さんの努力以外なものでもありません。自分の時間と費用を提供し、互いに切磋琢磨して積み上げたものは

相談員の皆さんにとっても得がたいものとなることでしょう。これを次代に残し、伝えるご努力にも頭が下がります。

物事を成すには、パッション(情熱)、ミッション(使命感)、アクション(行動力)が基盤となるといわれます。相談員の方々は、この基盤の上で電話を聴いてくださっていると信じます。

ある営利会社の合言葉に、「ともに幸せになる幸せ」というのがあり、私は大変感銘を受けました。そして思ったことは、相談員の皆さんは、電話を受けられるとき「ともに幸せになる幸せ」を念じて受話器を握っておられるだろうということです。その心は、暖かい息遣いとなって相手に伝わると思います。

どうぞ、健康に留意され、この有意義な活動をお続け下さい。心からお願い申し上げます。

第33回日本自殺予防シンポジウム

～いのちと向きあうネットワーキング社会を～

開催日：2008年7月12日 会場：中之島・中央公会堂

基調講演講師：大谷 昭宏 氏（ジャーナリスト）

「みんなの<いのち>輝くために」

自殺者が一挙に増え出してから、ここ10年のスパンで社会を見ていくと、日本がやってきていることは、徹底した合理的な新自由主義経済。私たちの社会の中には、希望を失っていく若者たち、希望を失っていのちを絶っていくひとたちがいます。これが、私たちの社会が徹底して追及してきた市場原理主義、新自由主義と関連していることだけは、私は否定できないはずだと思います。そのことが、私たちの日本の社会にとって幸せなことなのかということ、もう一度考え直してみることが必要ではないでしょうか。本当に何の歯止めもない競争社会。それは、人間にとって幸せなのかどうなのかということ、もう一回問い直してみたいと思います。

3万人の方が授かったいのちを全うすることができずにそのいのちを絶たざるをえないような国で、世界で2番目の経済力を持っていても果たして幸せなんだろうか。その数が1万人に減り、5千人に減るんだったら、3番目でも4番目でもいい。あるいは、ベスト10に入るだけでも御の字だと。大金持ちの国っていうのは幸せな国なんだろうか。そのことをただひたすら追いかけて続けるみんなが生き苦しく感じていく社会っていうのは幸せなんだろうか。

今、日本の中には、生き苦しさ、生きていくことのしんどさがある。とにかく自由に競争すればいいんだと、ついていけなかったものはそこに置いていっていいんだというやり方が、私たちの望む社会なんだろうか。それよりも今、隣で手をつないでいるいのち、すぐ横をいっしょに歩いているいのち、いっしょに歩いていける社会の方が素晴らしいんじゃないか。それをもう一度立ち止まって、皆様方ともう一度考え直してみたいと思います。

競争社会を私たちがひたすら追いかけていって、あの人は勝手にいのちを絶ったんだとか、あの子のお父さんは自分に弱かったんだとか、あるいは亡くなった後の周りの人のことを考えたんだろうかとかいうような言葉を浴びせる社会というのは、私は、決して子どもたちに残すような社会ではないと思います。

私がジャーナリストとして40年続けてきて、今、心にしみて思うことは、本当に、ただ単純に、私たちのいい国とは何だろうか。いい社会とは何だろうか。大金持ちで、とてつもない軍事力を持つてる国がすばらしいのか。サブプライムローンで、世界中がびっくりするほどの投機マネーを持つてる、そういう国がすばらしい国なのか。そんなことはない。

じゃあ、何ををもってすばらしい国と言えるかというと、私は、そこにある一つ一つのいのちが、どれほど重んじられているか。その社会に今あるいのちが、どれほど大事にされているか。そのいのちが大事にされている社会こそ、私たちはいい社会と言えるんじゃないかと思います。

皆様方が、33回にわたり、こうやってシンポジウムをお開きになる、少しでも自殺を減らそうと。そして、ただ単に自殺自死をなくしていくことではなくて、どれだけ、いのちが重んじられているのか、いのちが重んじられる社会こそすばらしい社会なんだと。それ以上でもそれ以下でもない。社会を判断する基準はただそこにあるんだということを皆様方は、日々訴えられているんじゃないかと思いません。

日々活動をなさっているいのちの電話の皆様には、心から敬意を表しますとともに、皆様方お一人お一人の気持ちが結集されて私たちの社会を世界に誇って、日本ほど一つ一つのいのちが大事にされる国はないんだと、いつの日か胸をはれる日がくることを祈りたいと思います。

（講演内容一部抜粋 文責：広報委員会）

創立 35 周年チャリティコンサート「祈りの調べ」に感動！

今年のチャリティコンサートは、関西いのちの電話創立 35 周年記念として、8 月 8 日、いずみホールにて、日下部吉彦氏の司会により開催され、約 600 人の聴衆でほぼ満席でした。<パイプオルガンで導かれる「祈りの調べ」>と題して、最初にパイプオルガン（木島美紗子氏）の荘重な調べがホールいっぱいに響きわたり、次いでソプラノ（飯沼京子氏）による“アヴェマリア”などの名曲、さらにバイオリン独奏（赤松由夏氏）による

“タイースの瞑想曲”など心にしみる美しいメロディが会場を満たしました。第 2 部は須賀敬一氏指揮による男声合唱（大阪メールクワイア）で高田三郎作曲典礼聖歌から崇高な精神の込められた 7 曲、最後にアンコールに依って出演者全員による“アメージンググレイス”の合唱で感動的な幕を閉じました。「心が洗われる思い」、「祈りの調べに感動した」などの感想が多く寄せられ大変好評でした。来年は 8 月 7 日（金）に開催の予定です。お楽しみに。

（広報企画チーム）

創立 35 周年記念バザーが開催されました

11 月 1 日、創立記念バザーが開催されました。当日は天気到大変恵まれ、多くの参加者を迎えることができました。

今年は、“創造的なバザー”をテーマにかかげ、その一つとして動物のいのちを大切にする活動団体“アニマル・トラスト”が参加してくださり、ワンくんと交流やドッグショーを楽しむことができました。販売コーナーでも工夫をこらし、アクセサリーの特別コーナーを開設して寄贈品の売り上げを伸ばすことができました。

バザーは、多くの人たちの協力とパワーがなければ成り立ちえません。貴重な労力と時間や寄贈品をご提供いただいた方、ロッター券をお買い上げいただいた方々、みなさまに心から感謝申し上げます。

今年は 126 万円の収益を得ることができました。ありがとうございました。

（バザーチーム）

協賛企業（順不同）

近畿コカ・コーラボトリング（株）
 ヘンケルジャパン（株）
 （株）近江兄弟社
 中京医薬品
 グリコ（株）
 東リ（株）
 （株）フェリシモ
 （株）ガイドー繊維
 （有）なかの



関西いのちの電話 創立 35 周年記念公開講座

NHK 歳末たすけあい義援金による事業

「いのち・こころ・いやし」

講師：柏木哲夫氏（金城学院院長・大学長、大阪大学名誉教授、淀川キリスト病院名誉ホスピス長）

「淀川キリスト教病院」にホスピスを開設され、日本のターミナルケアの先駆的存在として活躍されてきた氏より、現代社会に生きるひとびとの「いのちとこころ」の問題を語っていただきます。

日時：2009 年 2 月 7 日（土）14：00～（開場 13：30）

会場：大阪 YMCA 会館 大ホール（地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」下車徒歩 5 分）

参加協力費：1,000 円（当日 1,200 円）

お申込み・お問合せ：関西いのちの電話事務局 TEL 06-6308-6868 FAX 06-6308-6180

歳末
募金

24 時間・365 日「眠らぬダイヤル」として相談活動をおこなっています。
活動資金が必要です。いのちの電話の活動をお支えください。

口座名義：社会福祉法人 関西いのちの電話 理事長 今村 一之

口座番号：ゆうちょ銀行 大阪 00990-3-68480

三井住友銀行 十三支店（普）998829

社会福祉法人へのご寄付は税制上に優遇されます。



共感ってなに？(30)

「伝え返すスキル(続)」

前回(29)「共感とは、かけ手の言葉を受けとって、聞き手としてどのように受けとったかを自分の言葉で伝え返すことです。」と書き、伝え返すスキルの4つの種類の例を紹介し、どれが相手との間でぴったりとするかを検討してくださいと述べました。

その文章に匿名で代替案をいただきました。

事例：中年の未婚女性からの電話です。

「私は先日、健康診断で、ガンの疑いがあると聞かれて、検査入院したのです。そのことを母親と妹に連絡したのですが、一回も見舞いにきてくれなかったのです。それって！おかしいと思いませんか？」(きつい声の調子で)

「(1)単純に伝え返す(言葉の反射)(2)自分の言葉に言い代えて伝え返す(要約)(3)気持ちを伝え返す(感情の反射)」は略します。

(4)深い思いを伝え返す

「あなたは、ガンの疑いで検査入院をしたが、母親と妹が見舞いに来てくれなかった。ガンと言われて不安になっている自分には、二人の顔をみるだけでも支えになる。なのに、顔を見せてくれなかったの、とても寂しかったのですね。」

上の「伝え返す」に対する応答への代替案です。

「あなたがガンの疑いがあると聞いて、とんできてくれると思ったのに・・・あなたは何もかも見捨てられたような気持ちになっておられるのですね。」

これもありだと思います。しかし、「見捨てられ不安だと思えます。」と添えられていた言葉で、提案者は診断的な立場に基づいて、解釈を相手に伝え返しておられるのではないかと感じました。

伝え返すスキルは相手とのキャッチボールです。聞き手としての私は、「このように受けとったのですが、いかがでしょうか。」と投げ返し、相手が自分の深いところにある感情を探るのを待ち、応答があれば、また、どう受けとったかを伝え返して、相手の感情に近づいていくのが、共感の作業だと私は考えています。

(長尾文雄)

第45期 電話相談ボランティア養成講座 案内

「いのちの電話」の活動に参加してみませんか！

養成期間：1年目 2009年4月～2010年3月 2年目 2010年4月～2011年3月

募集期間：2009年2月2日(月)～3月31日(火)必着

<面接日3月28日(土)希望の場合は、3月11日(水)必着>

面接日時：3月28日(土)午後2時～8時 4月5日(日)午前9時～午後5時

*いずれかの面接日を選択していただきます。所要時間は約1時間30分の予定です。

詳しくは、募集要項をご請求のうえ、ご覧ください。「関西いのちの電話・ホームページ」からプリントアウトすることもできます。

募集要項：〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72

請求先 関西いのちの電話事務局 Tel 06-6308-6868 Fax 06-6308-6180

相談電話受信件数

受信月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
受信件数	1,449件	1,345件	1,661件	1,826件	1,765件	1,628件	1,774件	1,928件	1,659件	1,780件
相談員数(延)	394人	352人	444人	476人	479人	445人	444人	474人	447人	452人

編集後記

広報誌「関西いのちの電話」は、都合によりしばらく休刊しておりました。今号よりまた、発行させていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。

(広報委員会)

社会福祉法人 関西いのちの電話

事務局 〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72
TEL: 06-6308-6868 FAX: 06-6308-6180
発行人 今村 一之 編集 広報委員会
ホームページアドレス <http://www.kaind.net/>

先日、長年使ってきたパソコンが突然動かなくなりました。修理センターの電話は混み合っていてなかなか繋がらない。やっとの末、繋がった電話に具合の悪いことを伝えると、相手はすかさず「それはお困りですね...」との対応。『おいおい、いきなり、共感?!』と思ったが、知らず知らずのうちに相談しやすい雰囲気が作られていたのに気がついたのは電話を切ってからであった。特に問題が解決した訳ではなかったが、なぜか心は晴れやかだった。

木枯らしがカレンダーをめくるように、日ごとに散ってゆく枯れ葉の残る枝越しに、暖かそうな雲が浮かんでいた。

(H.S)